

FAX 番号：078-918-5155 Eメール：hon_akashi@city.akashi.lg.jp

明石市政策局政策室本のまち担当「あかし保育絵本土」係

2019年 月 日
次のとおり、申込みをいたします。

応用編は、認定決定後、奨励賞として、施設に絵本をプレゼントしますので、施設名と施設長名をご記入の上、お申込みください。

○施設名：

○施設長名：

㊞

本のまち明石



「あかし保育絵本土」 (応用コース) 養成講座

— ひびきあう保育のために —

第1期生
募集



絵本をきっかけに、保育者・乳幼児・保護者など保育の場に集うすべての人が、ともにひびきあい、育ちあうよう、保育環境の充実を図るため、2019年に開設した明石市オリジナルの資格制度「あかし保育絵本土」養成講座の応用コースを開講します。

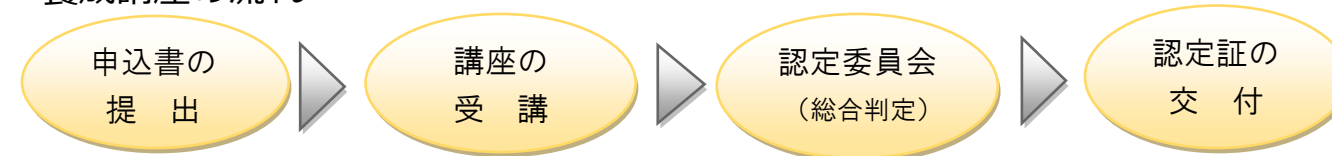
基礎コースで修得した、「絵本を選ぶ力」、「絵本を乳幼児に読む力・読みあう力」・「絵本の読みあいの様子を分析・省察し、記録する力」を実践で活用できるよう、さらなるスキルアップを目指します。修了者は、「あかし保育絵本土」(マスター)として認定します。

■対象者 「あかし保育絵本土」養成講座の基礎コース認定者

■定員 15名 (申込みが15名を超えた場合は、選考となります。)

■申込期間 2019年6月10日(月)～7月17日(水) 必着

■養成講座の流れ



■受講料・認定料 無料

「あかし保育絵本土」とは？

絵本を通して一人ひとりの子どもと向き合い、それぞれの子どもの個性に合わせたきめ細やかな保育ができる保育者

■申し込み先 (お問い合わせ)

申込書を郵送 (庁内便可)、FAX又はメールでお送りください。

〒673-8686

明石市中崎1丁目5番1号 明石市役所分庁舎5階

明石市政策局政策室本のまち担当 「あかし保育絵本土」係

TEL: 078-918-5209 / FAX: 078-918-5155

Eメール: hon_akashi@city.akashi.lg.jp

「あかし保育絵本土」養成講座 (応用コース) 受講申込書

①受講希望者	(ふりがな)
氏名 (ふりがな)	(氏 名)
②所 属 (施設名)	施設名：
住所・連絡先	住 所：
	電話番号：
	FAX 番号：
③現在の担当クラス	() 歳児クラス ・ () 名
④保育者としての経験年数	() 年 () か月

⑤基礎コース受講後について

基礎コース (全7回) を受講後、絵本を通して、ご自身や子ども (クラス) が変わったと感じることや、日常の保育に活かそうと取り組んでいることなどをお書きください。

2019年度 プログラム(応用コース)

■ 受講（選考結果）のお知らせ

7月23日（火）までに、郵送で通知します。

■ 開催日（全3回）

- ①8月23日（金）、②11月6日（水）、12月4日（水）
 ※勉強会を3月5日（木）に開催します。詳細については、別途ご案内します。

■ 開催時間

- ①第1回 15:00～17:10
 ※第1回は、オリエンテーションのため、17:10終了予定です
 ②第2回 9:00～13:00（予定）
 ※第2回は、現場実習を予定しています。上記は、移動時間を含みます。
 ③第3回 15:00～17:00

■ 開催場所

- ① 8月23日（金）生涯学習センター 学習室803（アスパア8階）
 ② 11月 6日（水）現場実習（私立保育園・公立幼稚園）
 ※マイクロバスでの移動を予定しています。
 集合場所など詳細は第1回でお知らせします。
 ③ 12月 4日（水）明石駅前再開発ビル 多目的室（パピオスあかし5階）

■ 講師

氏名	所属	専門分野
佐々木 宏子	鳴門教育大学名誉教授	乳幼児教育・心理学
村中 李衣	ノートルダム清心女子大学教授	児童文学
徳永 満理	おさなご保育園理事長	保育学

■ 認定の基準

- 原則として、全講義を受講することを認定の前提条件とします。
 やむを得ず欠席する場合は、講義のDVDと資料をお渡しする予定です。
 詳細については、事務局にご相談ください。
 ○講義及びワークショップでの成績、出席状況、レポート（課題）、修了課題等を合わせて、総合的に判断します。



科目	回数	開催日	時間(分)	講座内容	講師
絵本を選ぶ力	1	8/23 (金)	10	オリエンテーション	佐々木 徳永 村中
			120	保育の中で絵本を選ぶ ■「変わり続けるひとりと一冊」(協同討議) —基礎コース修了後の保育現場との関わりの事例— 既存の絵本リストに頼るのではなく、保育者が保育の中でとても大切だと思った絵本、印象に残った絵本、他の保育者にも勧めたい絵本などを持ち寄り、選書、読み方、子どもの反応、読後の印象深い変化など情報交換を行い、明石の地域に根差した保育の実践に繋げていく。	
読む力・読みあう力	2	11/6 (水)	240	絵本と子どものこころ ■「“子どもと絵本とわたし”の今日の発見」(保育現場での実践) —保育者と子どもたちとの読みあい— 現場での読みあいの実践場面を見学する。保育者の「声」「リズム」「間」が生みだすひびきあい、子どもたちの「読み」による共育の広がりなど、そこから出てきた様々な印象や感想、分析などを情報共有し、読みあいを実体験することで、保育の実践に繋げていく。(私立保育園、公立幼稚園での実習。講師による実践も予定)	佐々木 徳永 村中
				絵本を通じた保育のまなざし ■「課題の再発見から明日への保育へ」(省察) —保育者としての観点から— 絵本が日常の保育の中で、どのように乳幼児理解につながり、「教育要領」や「保育指針」に位置づけられるのかを、保育者として明確にできるようにし、今後の保育実践に活かしていく。 絵本が、保育・家庭・地域の中で果たす役割を考える。 絵本をとおして、今、目の前にいる子どもやそれぞれの生活環境について理解を深めることで、一般論やマニュアル的ではない、地域に根ざした生きた保育の実践に活かしていく。	
任意参加		3/5 (木)	90	勉強会（フォローアップ）	佐々木・ 村中・徳永

- 応用コース（3回）は、基礎コース認定者が対象です。
- 講座はいずれも、講義とワークショップです。
- 各回終了後の簡易なレポート（課題）、修了課題があります。
- コース修了後、認定を受けた方に「認定証」と、認定者の所属施設に奨励賞として絵本30冊をお渡しする予定です。